



仙水AS-2000SS 取扱説明書  
ご使用前に必ずお読みください

この度は、弊社のセパレート型のオゾン発生装置「仙水」をお買い求めいただきありがとうございます。本装置を安全にかつ効果的にご利用いただくために、本書をご精読の上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

オーニット株式会社

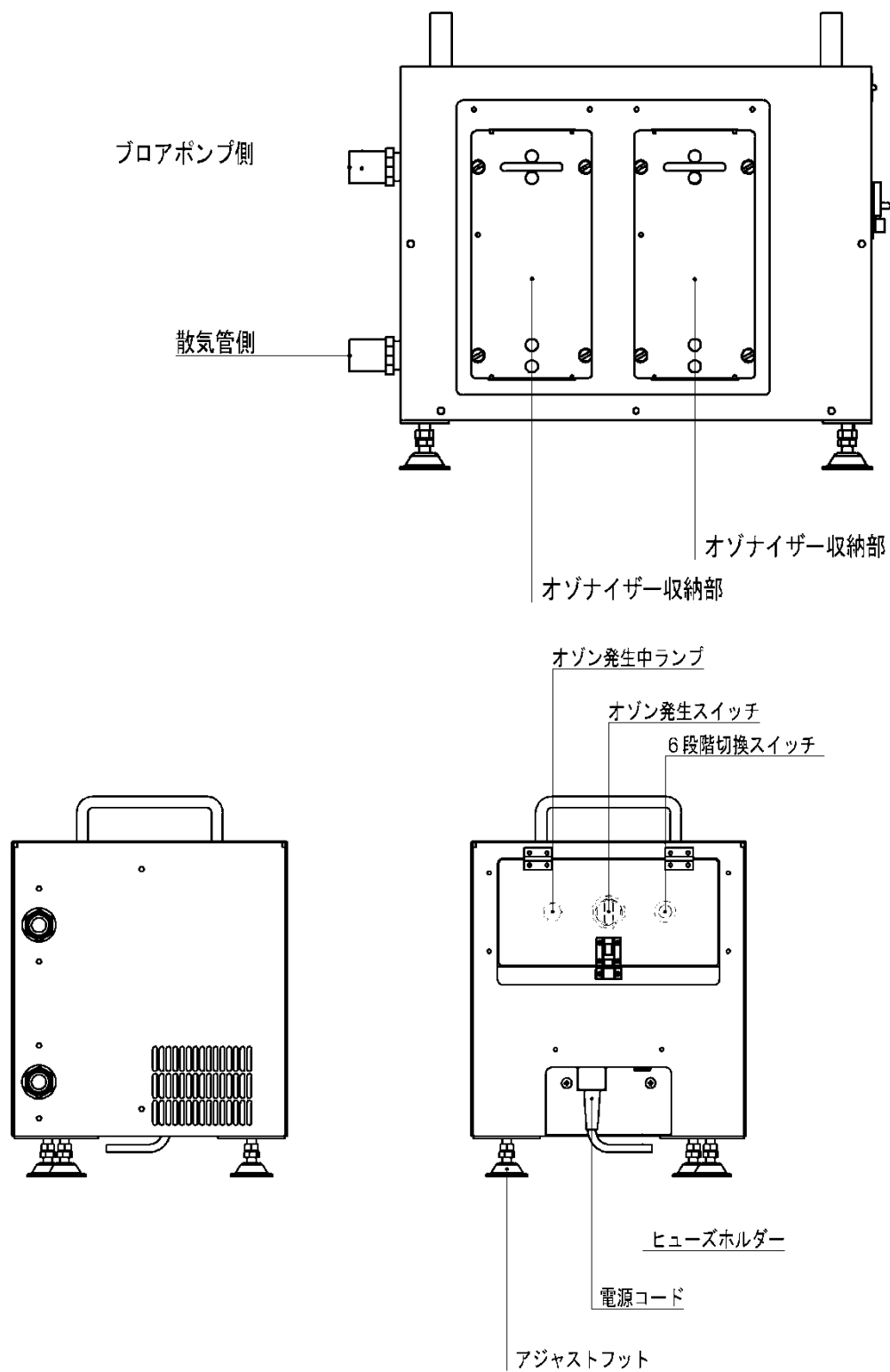
〒709-0802 岡山県赤磐市桜が丘西 10-31-2

TEL:086-956-2520 FAX:086-956-2521

令和5年7月13日改訂

# 本体の各部名称




13A バルブソケット



# 使用上の注意

安全にご使用いただくため必ずお守りください。

本装置の取り扱いを誤ると火災や感電の原因になります。お客様の身体や財産に損害を与えないため、重要な事項を下記の表示で表しています。保守管理ご担当の方は、この取扱説明書を手近な所に置き、製品が正しく使われるように遵守し、保守管理をしてください。

 危険	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負うような切迫した危険性があることを示しています。
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物理的損傷の発生が想定されることを示しています。

重 傷／失明・感電・けが・やけど・骨折・中毒などで後遺症があるもの。また治療に入院や長期通院を要するものを示します。

傷 害／治療に入院長期入院を要さない感電・けが・やけどなどを示します。

物的損傷／家屋・家財・設備機器・および家畜・ペットなどに関わる拡大損傷を示します。



- 本製品のカバーを外したり、分解改造したりはしないでください。  
本体の内部は高圧電源を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。修理は、販売元におまかせください。
- 保守点検の際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。  
本体の内部は高圧電源を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。
- 本製品を落とす、または強い衝撃を与えた際は、直ちに使用を中止し販売元にご連絡ください。  
本体内部のオゾン発生体が破損した状態で使用すると火災や感電により、死亡する恐れがあります。
- 本製品及びコンセント部に水をかけないでください。  
漏電、火災などの事故に繋がる恐れがあります。
- 延長コードは使用しないでください。  
接続部に水がかかると漏電、火災などの事故に繋がる恐れがあります。
- ご使用前にコンセント一次側に漏電ブレーカーがあることを確認してください。  
水場で使用するため、漏電ブレーカーが必要です。



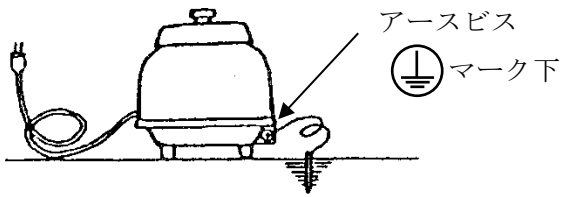
- コンセントから電源コードを抜く際は、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。  
コードが破損すると火災や感電の恐れがあります。
- 電源プラグに付着するホコリなどは定期的に取り除いてください。  
ホコリなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 50/60Hz 以外での使用はしないでください。  
火災や感電の恐れがあります。
- 電源コードを破損するようなことはしないで下さい。  
傷つける、加工する、熱器具に近づける、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねる、挟み込むなどコードを傷つけると、漏電や感電の恐れがあります。  
※傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。  
※電源コードを破損した場合の修理は販売元にご相談ください。
- 塗れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。  
感電の原因になります。
- 電源コードは差し込み口に根元まで確実に差し込んでください。  
差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因になります。
- 電源コードは必ず専用のものでご使用ください。  
また、付属の電源コードを他の製品で使用しないでください。  
故障の原因になります。
- オゾン発生中に吹き出し口から、息を直接吸い込まないでください。  
吹き出し口から出る高濃度オゾンを長時間吸うと人体に傷害を与える恐れがあります。
- 人やペットなどの動物がいる空間では絶対に使用しないでください。  
本製品はグリーストラップで使用するため高濃度のオゾンを発生します。高濃度のオゾンは人やペットなどの動物に傷害を与える恐れがあります。
- 本製品をグリーストラップ以外で使用する場合は事前に販売元、メーカーにご相談ください。  
十分な性能を発揮できない恐れがあります。
- 本体へ配管を行う際、締め込み過ぎないように注意してください。  
強く締めすぎると本体接続部のプラスチックが破損する恐れがあります。
- 「仕様」に記載されている内容外で使用しないで下さい。  
故障の原因になります。



警告

感電事故防止のために、アースを必ず接続してください。

- 本体の電源コードをアース付きコンセント（2極接地極付コンセント）に、又は電源コード変換アダプタのアース線をアース端子（アースターミナル）に接続してお使いください。
- ポンプはアースビスにアース線を接続してください。



- アース線は市販のものをお使いください。  
【例：電線 UL1015AWG18(緑/黄)絶縁被覆付端子】
- アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
- 屋内配線にアース端子が無い場合は、電気工事士の有資格者に依頼してD種（第三種）接地工事を行ってください。



- 本製品はグリーストラップで使用するために、高濃度のオゾンが発生させます。ご使用中にグリーストラップの蓋から、僅かながらオゾンが漏れ出ることがあります。特に、屋内に設置されたグリーストラップで使用する場合、販売元に従いオゾン発生量を適切に切り換えてご使用ください。
- オゾンを発生させたままの状態でごリーストラップの蓋を開けるとオゾンを吸引することがあります。僅かな時間であれば影響はありませんが、人体に対するオゾンの影響は以下の表を参照し、注意をしてください。


気中オゾンの生物への影響		
濃度[ppm]	生物への影響	備考
0.01～0.03	ほとんど臭わない	自然界の日中の濃度
0.04～0.06	爽やかな臭い、オゾンの臭いがある	海岸・山 (晴天の夏 PM 2 : 00)
0.06	これ未満は慢性肺疾病患者の嗅気能に影響なし	オキシダント環境基準
0.10	人体への影響 (のど・目・鼻が痛い)	USA 環境基準 日本産業衛生学会許容勧告濃度
0.60～0.80	頭痛・せき・呼吸困難	
0.50～1.00	呼吸障害・モルモットの寿命短縮	
1～2	2時間暴露で頭痛・胸部痛など	

- 呼吸器の弱い方は濃いオゾンを吸わないように気をつけてください。安全基準以下でも傷害を起こす恐れがあります。
- 錆びやすい品物は高濃度オゾンに直接接触すると錆が促進されますのでご注意ください。塗装皮膜・油脂皮膜のない鉄製品などは、オゾンの酸化作用で錆の進行が促進されます。アルミ製品・ステンレス製品は一般的にオゾン耐性があります。SUS304・SUS316 は高濃度オゾンに直接接触しても耐性があります。
- 天然ゴム類は高濃度オゾンに直接接触すると劣化しやすいので直接触れないようにご注意ください。アクリル (ACM,ANM) ・エチレンプロピレン (EPD,EPDM) ブチル (HR) の各ゴムはある程度オゾン耐性が認められています。フッ素 (FPM) は高濃度のオゾンに直接接触しても耐性があります。
- オゾンの酸化作用・漂白作用で装飾性を損なう恐れがありますので、貴金属製品などの貴重品はオゾンに直接触れないようご注意ください。

# 付属品

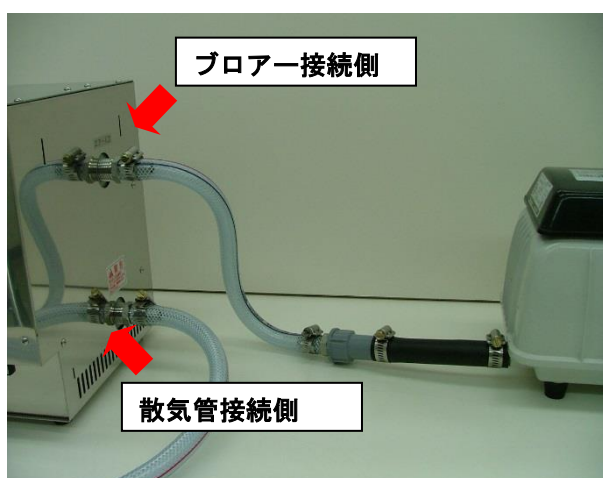
・本体	×1	・取扱説明書	×1
・保証書	×1	・電源コード	×1
・ホースバンド	×5	・ホースニップル	×4
・アジャストフット	×4		
・ミゼットヒューズ 2A (1つは本体装着済み)			×2
・ブローポンプ (30L/min、60L/min、100L/min または 200L/min)			×1
・散気管 (本体に同梱せず、設置現場の必要数に応じて付属)			

# 配管時の注意事項

 <b>警告</b>	本体背面へ配管を行う際、強く締めすぎると本体の接続部のプラスチックが破損する恐れがあります。締め込み過ぎないように注意してください。
---	--

※1) 配管をする際、既成のパイプ等をご利用になる場合は、オゾンによって酸化しない塩ビ・ステンレス製のものをご利用ください。

※2) 本体背面の接続口は、上がブローア（ポンプ）側、下が散気管側です。接続位置を間違えないようご注意ください。



# 使用方法

本製品は防雨構造となっていますが、電気製品ですのでなるべく雨や水のかかる場所は避けて使用してください。

塵埃のある場所、油煙の発生する場所、40℃以上の高温になる場所は避けて使用してください。故障の原因になります。

- ① 取り付けは必ず本体が安定する場所に設置してください。
  - ② 本体設置後、配管をしてください。
  - ③ 本体に電源コードを取り付け、コンセントに差し込みます。
  - ④ ポンプの電源コードをコンセントに差し込み、ポンプの運転を先に開始してください。
  - ⑤ オゾン発生量切替スイッチを空間の容積や汚れの程度によってオゾンの発生量を調節して下さい。
  - ⑥ オゾン発生スイッチを ON にしてオゾンが発生させます。
- ※ 運転停止は、本体のオゾン発生スイッチ OFF → ポンプの電源コードを抜く、という順番で行ってください。



注意

本体のオゾン発生スイッチを ON にするとオゾン発生を開始します。この時、必ずポンプの運転を開始しておいてください。ポンプが停止した状態で、長時間オゾン発生だけ続けると、故障を招く恐れがあります。

## ○ 6段階切替スイッチの使用方法

適用する空間の容積や汚れの程度によってオゾン発生量を調節するスイッチです。グリーストラップの大きさ、臭気の強さなどに合わせてオゾンの発生量を調節してください。

※ 本体の設置場所の温度や気温が高い場合はオゾン発生量を高め、低い場合はオゾン発生量を低めに設定してください。



# 本体の保守・点検

「仙水」の性能を長期に渡って維持し、使用していただくために次のことを行ってください。

## ポンプの点検・交換

ポンプ使用上の注意、取り扱い、保守点検につきましては、ポンプに付属する取扱説明書を参照し、保守管理をしてください。

ダイヤフラムやエレメント等の老化により定格圧力及び風量が下がります。グリーストラップ内の排水の悪臭防止、清掃頻度軽減等の効果維持のため、3年に1度はポンプを交換してください。主要消耗交換部品はエアークリーナエレメント、エアークリーナパッキンです。交換部品をお求めの際は販売元にご用命ください。

## オゾン発生体のメンテナンス

強い悪臭環境下で使用しても付着物が付きにくい構造になっていますが、長期に渡って使用していただくとオゾン発生体内部に付着物が付きます。発生体の洗浄はこまめに行ってください。発生体の洗浄が不十分ですと、オゾンが発生しにくくなるなどトラブルの原因になります。半年に1度は発生体の洗浄を行ってください。

## メンテナンスの方法

- ① オゾン発生スイッチをOFFにしてください。
- ② 本体の電源コードをコンセントから抜いてください。
- ③ オゾン発生体ユニットの固定ビスを取り外し、ハンドルを手前にゆっくり引いて、ユニットを取り外してください。

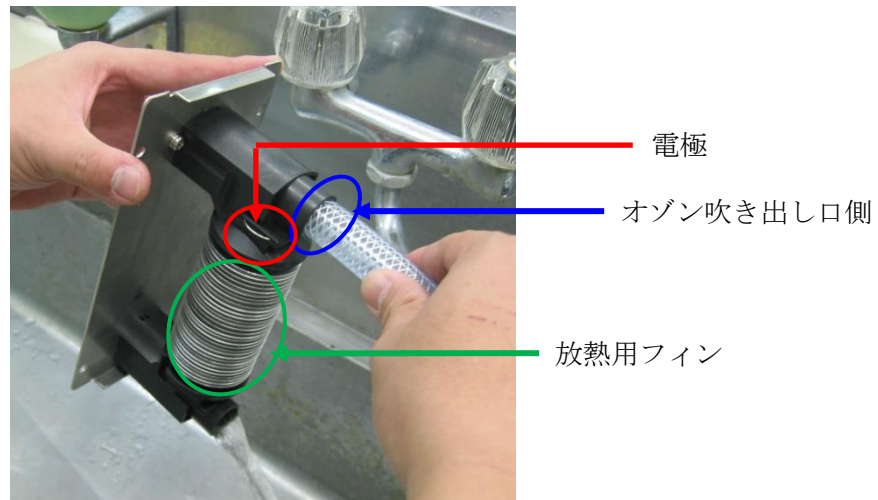


### ④ 4-1.水洗いの方法

オゾン吹き出し口側（表面の取手、電極が付いている方）から水道の流水で中を洗浄してください。

※洗浄前に必ず方向をご確認ください。

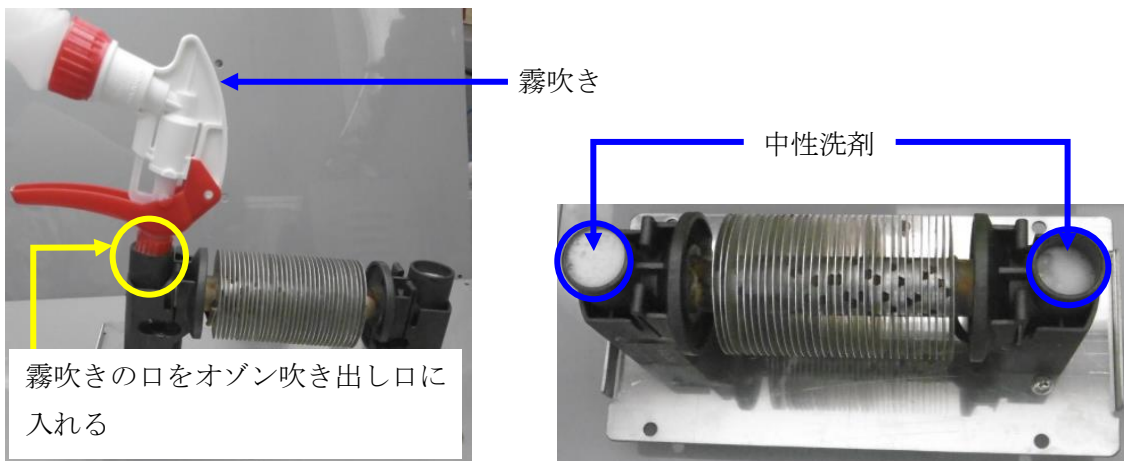
※オゾン発生体ユニットにはガラス管が使用されています。洗浄の際に強い衝撃を与えると破損の恐れがありますので、丁寧にお取り扱いください。



#### 4-2. 水洗いで効果が感じられない場合

内部に水洗いで落とせない汚れが付着していると考えられます。

霧吹きなどを使って、薄めた中性洗剤をオゾン発生体ユニットの内部に流し込み、そのまま約 30 分間放置してください。その後に、4-1 と同様に水洗いしてください。



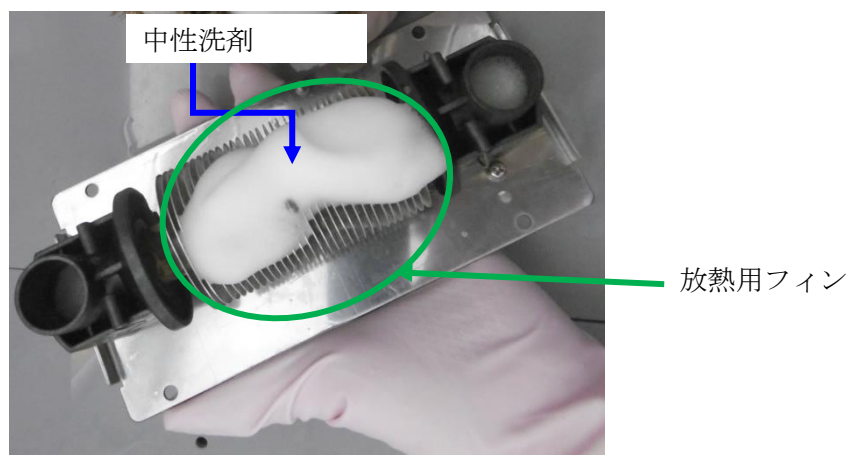
#### 4-3. 放熱用フィンが汚れている場合

放熱用フィンが汚れていると、冷却効果が落ちオゾン発生体の機能低下につながります。

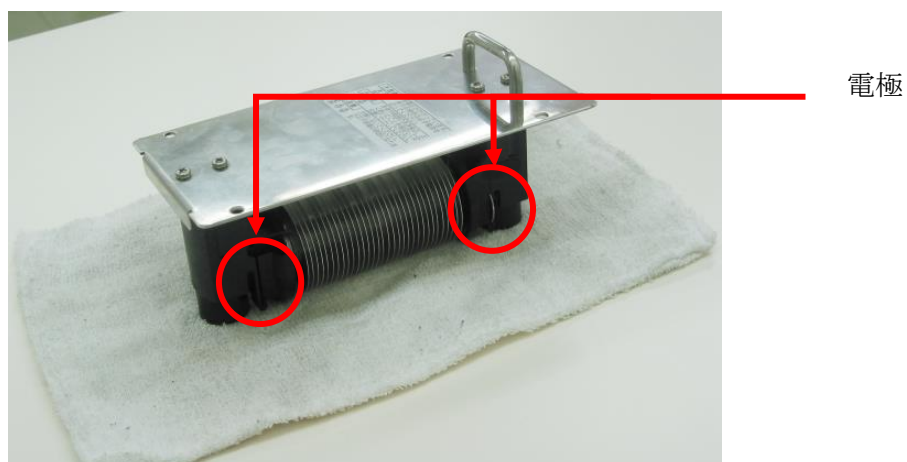
放熱用フィンの汚れが酷い場合、薄めた中性洗剤を使って洗浄してください。

※注意

- ・ 中性洗剤以外の洗浄液を使わない。
- ・ ケガの恐れがあるので、放熱用フィンに手で触らない。
- ・ ガラス管が破損する恐れがあるので、強い力でこすらない。




- ⑤ オゾン発生体ユニットを完全に乾燥させてください。  
※オゾン発生体の電極が濡れていると、漏電などの事故に繋がる恐れがあります。



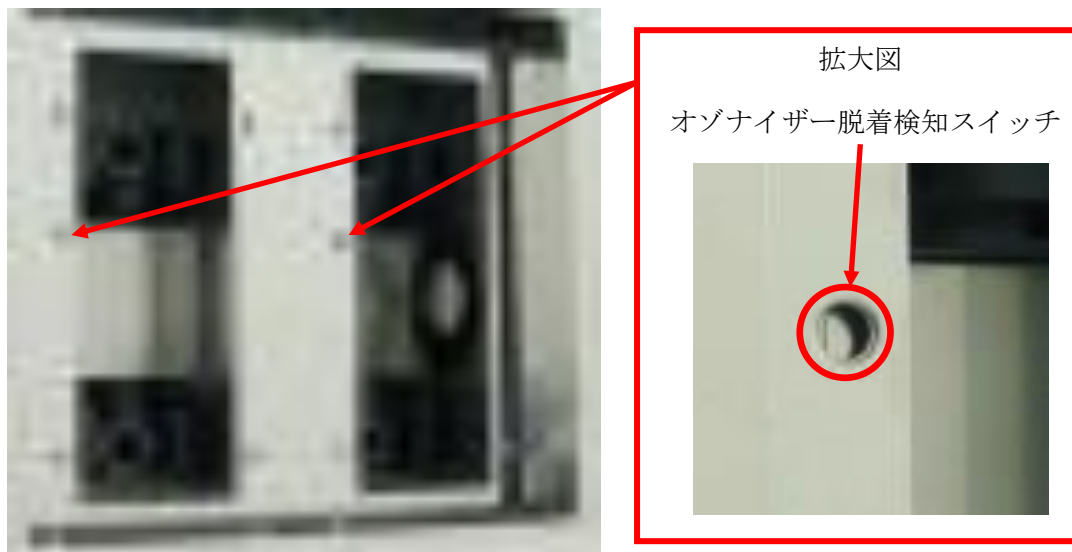
- ⑥ オゾン発生体ユニットがしっかりセットしたことを確認し、固定用ビスを締めて固定してください。



⑦ 本体とポンプの電源コードをコンセントに差し込み、その後、本体のオゾン発生スイッチをONにしてください。


 注意	本体のオゾン発生スイッチをONにするとオゾン発生を開始します。この時、必ずポンプの運転を開始しておいてください。ポンプが停止した状態で、長時間オゾン発生だけ続けると、故障を招く恐れがあります。
--	--

#### オゾナイザー脱着検知スイッチについて



オゾナイザーユニットを取り外すとオゾナイザー脱着検知スイッチが働いて、動作しないようになっています。

メンテナンス終了時は、オゾナイザーユニットを奥までしっかり装着してください。

 危険	メンテナンス時、オゾナイザーユニットを取り外した状態でオゾナイザー脱着スイッチに触れないでください。 本体のオゾン発生スイッチが誤ってON状態のまま、オゾナイザー脱着検知スイッチに触れると電源がONになり、予期せぬ感電を招く恐れがあります。
--	---

# トラブルと対策

トラブルの内容	原因	対応
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電源プラグが本体から抜けている</li> <li>■電源コードがコンセントに差し込まれていない</li> <li>■電気がコンセントまで達していない</li> <li>■オゾン発生スイッチが入っていない</li> <li>■ヒューズが断線している</li> <li>■電源コードが断線している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグを奥までしっかり差し込む</li> <li>●電源コードをコンセントにしっかり差し込む</li> <li>●ブレーカー等を確認する</li> <li>●オゾン発生スイッチをONにする</li> <li>●ヒューズを交換する</li> <li>●電源コードを交換または修理する</li> </ul>
オゾンが発生しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オゾン発生スイッチが入っていない</li> <li>■オゾン発生体のメンテナンスされていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オゾン発生スイッチをONにする</li> <li>●オゾン発生体のメンテナンスを行う</li> </ul>

※対応を行ってもトラブルが直らない場合は、具体的な状況、保障期間の有無、機種名等をお買い上げの販売元までご連絡ください。

# 仕様

○ブローポンプ 30Lまたは60L使用時

		セパレート型 (屋内設置用)	
セット型式	本体型式	AS-2000SS-30P	AS-2000SS-60P
	ブロー型式	AP-30P	AP-60F
電源	電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	本体	80W	
	ブロー	22W	35W
外形寸法	本体	250 (W) × 245 (D) × 290~320 (H) mm (突起物含まず)	
	ブロー	186 (H) × 191 (W) × 174 (D) mm (突起物含まず)	199 (H) × 191 (W) × 174 (D) mm (突起物含まず)
重量	本体	10.0kg	
	ブロー	3.9 kg	5.8 kg
原料		一般空気	
使用温度範囲		0~40℃ (結露のないこと)	
オゾン発生量		125 / 250 / 500 / 1000 / 1500 / 2000mg/h (6段階切替)	
吹き出し口濃度		32 / 65 / 130 / 259 / 389 / 519 ppm (6段階切替)	16 / 32 / 65 / 130 / 194 / 259 ppm (6段階切替)
ブロー流量		30L/min	60L/min

○ブローポンプ 100Lまたは200L使用時

		セパレート型 (屋内設置用)	
セット型式		AS-2000SS-100P	AS-2000SS-200P
	ブロー型式	AP-100F	LP-200H
電源	電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	本体	80W	
	ブロー	95W	215W
外形寸法	本体	250 (W) × 245 (D) × 290~320 (H) mm (突起物含まず)	
	ブロー	199 (H) × 191 (W) × 174 (D) mm (突起物含まず)	218 (H) × 227 (W) × 179 (D) mm (突起物含まず)
重量	本体	10.0kg	
	ブロー	6.1 kg	8.6 kg
原料		一般空気	
使用温度範囲		0~40℃ (結露のないこと)	
オゾン発生量		125 / 250 / 500 / 1000 / 1500 / 2000mg/h (6段階切替)	
吹き出し口濃度		10 / 19 / 39 / 78 / 117 / 156 ppm (6段階切替)	5 / 10 / 19 / 39 / 58 / 78 ppm (6段階切替)
ブロー流量		100L/min	200L/min

※100Lポンプ使用時の配管についての注意

塩ビパイプは13A以上、六角ホースニップルは20A以上のものをご利用ください。

# アフターサービス

保証書

保証書は必ず「販売元・購入日」等の記入とご確認の上、大切に保管してください。

(保証書期間／ご購入日から1ヶ年)

修理依頼

保証期間中に万一故障が発生した場合は、製品に保証書またはお買い上げ納品書などを提示の上、お買い上げの販売店またはアフターサービス窓口にて修理をご依頼ください。

緊急連絡先

販売元またはご自身で緊急連絡先をご記入ください。

会社名

---

部署名

---

担当者名

---

電話番号

---

FAX番号

---

Z02-AS2000SS-601-11